

国際リニアコライダーの 日本誘致に関するご要望

平成 26 年 4 月 22 日
第 3 回総会決議

平成 26 年 5 月

東北 I L C 推 進 協 議 会

国立大学法人東北大学

一般社団法人東北経済連合会

岩手県・宮城県・仙台市

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

国際リニアコライダーの日本誘致に関するご要望

国際リニアコライダー（ILC）は、基礎科学の研究に飛躍的発展をもたらすだけでなく、加速器や測定器をはじめとする多くの先端技術の開発と実用化を促進し、21世紀の科学と技術を大きく前進させるビッグプロジェクトであります。

ILCの建設地域には、世界最先端の研究を行う多くの人材が集まる国際学術研究都市が形成され、精密実験を支える先端技術も集積します。

このようなILC計画を日本に誘致することは、我が国が標榜する科学技術創造立国を実現する無二の機会であり、高度な技術力に基づくモノづくり産業を更に成長発展させ、日本再生に大きく寄与するものとなります。

それだけに、ILCの誘致は、建設地域のみならず、広く国民の合意を得ながら進めていく必要があります。

昨年8月23日、国内のILCに関する研究者で構成される「ILC立地評価会議」は、国内の建設候補地として、東北の北上山地が最適であると公表しました。

ILCの東北への立地は、本年1月に安倍総理が施政方針演説で述べられた「2020年、『創造と可能性の地』としての新たな東北の姿」を実現する絶好の契機となり、震災復興にも資するものであります。

東北は、I L C実現のために、産学官一体となって、研究者や家族の受入環境の整備、加速器関連産業の集積、国際性を持った人材の育成等に積極的に取り組むなど、最大限の努力をする覚悟であります。

国におかれましては、I L Cの早期実現に向けて、以下の事項に取り組まれますよう、強く要望いたします。

1. 誘致に関する検討方針を明確にし、資金の分担や研究参加に関する国際調整等をすみやかに進めること。
2. 早期に国内誘致を表明し、わが国が主導する国際プロジェクトとして進めるための国内体制を整えること。

平成26年5月27日